

むつみだより

平成 28 年 1 月号 No.197

母子生活支援施設 仙台むつみ荘

仙台市青葉区桜ヶ丘三丁目 32-10

Tel: 278-0005 Fax: 278-0609



どんと祭ってなに？

どんと祭という呼び名は宮城特有のもの。一般的にはどんと焼きというそう。

どんと焼きとは、小正月の行事で正月の飾りや書き初めなどを家々から持ち寄り、燃やすという日本全国に伝わるお正月の火祭りのこと。火にあたったり、焼いた団子を食べたりするとその1年間健康でいられるなどの言い伝えもある、無病息災・五穀豊穡を祈る民間伝承行事です。正月飾りによって出迎えた歳神を炎と共に見送る意味があるとされます。

どんと焼きを行う日は、東北地方から九州地方まで、ほぼ1月14日か15日に固まっています。旧暦では、1年の最初の満月にあたる1月15日が「正月」でした。また、1月1日を「大正月」1月15日を「小正月」と言うようになったとも言われています。ただし、「小正月」は陰暦の14日の夜から16日までを言う場合もあり、14日の夜から16日までに実施すればよいとも考えられます。1月15日が成人の日として祝日になった際、多くが15日に実施するようになりましたが、成人の日が15日でなくなった時からどんと焼きの日程を15日前後の土日に調整する地域も多くなりました。



事務室より

1月の行事とお知らせ

○子ども会

餅つき交流会 6日(水)

○公営住宅申込み

※今回は子育て世帯(就学前の児童を持つ世帯)のみの申込みになります。

○雪かきのご協力お願い

昨年は何度か雪が降り、雪かきの際には大変お世話になりました。今年もよろしく御協力下さい。

「新年、あけましておめでとうございます」！昨年は記録的な猛暑が続き、秋が短く、アツという間に冬が来てしまい慌ただしく感じております。27年は期中に入退所が多くありました。退所なさった皆様はそれぞれの地域で頑張っておられることと思います。新しく入所した方々には夏祭り、日帰り旅行、クリスマス会等々行事と時間を経て、少しずつコミュニケーションも円滑になっているように感じます。今年は更に皆様とのコミュニケーションを図り、良い意味でもなんでも語り合えるようになればいいなと思っております。

今年の干支は申です。赤い物を身に着け、元気良く、何事にも興味津々で取り組むと良い事が有るかも？春4月には皆様、それぞれ進級や進学といった新しい世界への一步を不安と期待を胸に踏み出す事でしょう。その時は職員皆でそっと皆様の背中を或いは力強く押す事を期待して新年のご挨拶とさせていただきます。

仙台むつみ荘 施設長 長田伸一

子ども会

去年、むつみファームではたくさんの野菜、植物を育てました。今回はほうれん草と大根の収穫！子どもたちが力いっぱい抜いてくれた大根の葉を料理してみんなで食べました。とれたての無農薬野菜はとってもおいしくて、おかわりの声が止まりませんでした。各家庭でも食べていただけたでしょうか？今年もたくさんの野菜を育ててみんなで食べたいですね！



むつみファームの収穫

27年度クリスマス会

昨年度は、インフルエンザの流行で新年会へと変貌したクリスマス会でしたが、今年度は入所者と職員の祈りが届き無事にクリスマス会として開催できました。地域のお客様を迎えてのささやかなランチタイム。幼児さんのかわいいオープニングに始まり、学童さんによるクリスマスソングの歌や合奏、毎年大好評のスライドショーに職員体当たりのお楽しみ寸劇と1時間半はあっという間でした。(勿論サンタクロースも登場しましたよ)今年度は、お母さん達も歌を披露してくれて、ステージにかぶりつきになるほど子ども達は大喜びでした。クリスマス会が終わると同時に、「せんせい、みてー♥」とサンタクロースからのプレゼントを見せに来てくれる姿に小さいガッツポーズの職員でした。

